

4年言語の習得 (MYP5 Language Acquisition) 【英語：4単位】

科目のねらい

MYP言語習得の指導と学習のねらいは、以下を達成することです。

- ・ 母語と自己の文化的遺産を維持しながら、付加言語に習熟する。
- ・ 多様な言語と文化的遺産に対する敬意と理解を身につける。
- ・ さらなる言語学習、また学習、就労、余暇などさまざまな実際の場面や、多様な受け手と目的に対応するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。
- ・ マルチメディアやさまざまなコミュニケーションの伝達様式などの幅広い学習ツールを使用してマルチリテラシーのスキルを身につける。
- ・ さまざまな文学テキストおよび非文学テキストを鑑賞できるようになり、批判的かつ創造的な方法で意味の構築と解釈ができるようになる。
- ・ 思考、振り返り、自己表現、および他の科目の学習のための原動力として言語を認識、活用し、読み書きの能力を向上させるツールとしても活用できるようになる。
- ・ 言語の本質と、言語的、文化的、社会的要素から成る言語学習のプロセスを理解することができるようになる。
- ・ 言語が使用されているコミュニティの文化的特徴を理解できるようになる。
- ・ 自己の文化や異なる文化をもつ人のものの見方への意識と理解を養うことで、自己やその他のコミュニティへの参加と行動につながる。
- ・ 言語学習への興味、探究、および生涯にわたる関心、また言語の習得における喜びを養う。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：聞くこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
B：読むこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
C：話すこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. 明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話せる。
	iv. 必要なすべての情報を明確かつ効果的に伝達できる。
D：書くこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. さまざまなシンプルおよび複雑な接続表現を使用して、的確な形式で効果的にわかりやすく情報を整理できる。
	iv. 文脈に合うように、受け手と目的をはっきりと意識したうえで、必要なすべての情報を伝達できる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Language Acquisition Guide」に基づいています

関連概念（言語習得の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）第1～第2段階

1-2	受け手	形式	メッセージ	目的	文脈	機能
	パターン	構造	表現技法	意味	発音	言葉の選択
3-4	受け手	機能	視点	文脈	イディオム	目的
	表現技法	意味	構造	共感	メッセージ	言葉の選択
5-6	主張	共感	目的	受け手	イディオム	スタイル選択
	偏見	推測	テーマ	文脈	視点	ヴォイス

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 変化 2. Scientific and technical innovation 3. リサーチスキル・自己管理スキル	「テクノロジー」の概念とその長所と短所を検討します。彼らは過去の使用と現在の社会への影響を検討します。 文法： ・過去形・過去進行形 ・Conditional(2nd・3rd) ・関係代名詞	「読むこと」 テキストの理解を示し、作者の考えに反応する【B】 「話すこと」 テクノロジーの変化についての会話のやり取りをし、コミュニケーションをとる【C】 「書くこと」 昔に存在している人への手紙を書きます【D】	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D 2. C-10
	2	1. ものの見方 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーションスキル・思考スキル	仕事と勉強の将来の目標を説明してください。変化する世界、変化する労働条件、そして彼らがそれにどのように適応するかを考えます。 文法： 未来系— Be going to Will What relative clause Relative adverbs	「聞くこと」 音声・視覚テキストを分析し、個人的な意見を述べる【A】 「話すこと」 将来か進路についての面接【C】	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-C
後期 (10月～3月)	3	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. リサーチスキル・コミュニケーションスキル	幸せは何ですか？幸福の概念を探求し、感情を表現します。世界中の国々の幸せを比較します。 文法： 比較級、最上級 Must, can, should, have to Passive modals Present subjunctive	「読むこと」 テキストの理解を示し、作者の考えに反応する【B】 「書くこと」 [幸せは何ですか？]について作文を書きます。【D】	1. ①知識・技能-B ③主体的に学習に取り組む態度-D
	4	1. 文化 2. アイデンティティと関係性 3. リサーチスキル・コミュニケーションスキル	旅と経験を通して、私たちは人間として成長することができる。 文法： 現在完了形 Ever/never/been/gone/just/already/yet/for/since 自分の経験についてはなしたり書いたりします。 ブログやメールなどの書き方	「聞くこと」 ビデオを見て、作者の考えや目的の理解を示す。そして個人的な意見を述べる【A】	1. ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-A